

環境事業に関するアンケート

○目的

大阪市では、地球温暖化対策やヒートアイランド対策の普及拡大に向けた取組や、生物多様性に関する事業等を実施しています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境関連事業に関して、どのような意識や考えをお持ちになっているのかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○質問内容

(1) 地球温暖化対策について

Q 1. <地球温暖化への関心>

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 関心がある
2. 関心がない
3. どちらともいえない

Q2. <省エネ行動の実施状況>

あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすためにどのような省エネルギーの取組をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 冷暖房時の室温を夏は 28℃程度、冬は 20℃程度になるように調節する
2. 見ていないテレビはこまめに消す
3. 部屋をかたづけてから掃除機をかける
4. 冷蔵庫のドアの開閉を減らし、ものを詰め過ぎない
5. 湯が冷めないよう家族間で続けてお風呂に入浴する。シャワーを不必要にながしたままにしない
6. 洗濯物はまとめ洗いをして洗濯回数を少なくする
7. トイレの温水洗浄便座を使わないときは、フタをしめる
8. 電気製品（電子レンジなど）を長時間使用しないときは、プラグを抜く
9. LED電球を使用している
10. ごみをきちんと分別して出す
11. マイバッグ・マイボトル・簡易包装などでごみを減らす
12. 食事は食べきり、食品ロスを減らす
13. 高効率給湯器や空調機など省エネ型家電に買替えた
14. その他（具体的に： ）
15. 取り組んでいない（複数選択不可）（⇒Q 4へ）

Q 3. <省エネ行動を始めたきっかけ>

Q2で「1」～「14」を回答された方にお聞きします。

あなたが始めたきっかけをお選びください。(複数回答可)

14. 海外の都市との連携等により国際的な地球温暖化対策に貢献する

15. その他（具体的に ）

Q 6. <気候変動への適応の認知度>

気候変動への「適応（＊）」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。

1. 意味も含めて知っていた
2. 言葉は知っているが、意味は知らなかった
3. 言葉自体を知らなかった

Q 7. <熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートの認知度>

あなたは、「熱中症警戒アラート（＊１）」、「熱中症特別警戒アラート（＊２）」という言葉を知っていますか。あてはまるものを１つお選びください。

1. 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知っている
2. 熱中症警戒アラートは知っているが、熱中症特別警戒アラートは知らない
3. 熱中症警戒アラートは知らないが、熱中症特別警戒アラートは知っている
4. 熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラート、両方知らない

（＊１）熱中症警戒アラート

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性を認識してもらうことを目的に、都道府県内のいずれかの観測地点で暑さ指数が３３以上と予測した場合に発表される情報。

（＊２）熱中症特別警戒アラート

熱中症特別警戒アラートは、熱中症による重大な健康被害が発生するおそれがある場合に、危険な暑さへの注意と熱中症予防行動を呼びかけるもので、都道府県内の全ての観測地点で暑さ指数が３５以上と予測された場合に発表される情報。

Q 8. <熱中症予防状況>

熱中症予防や対策の取組として、次にあげるものがあります。

あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

1. こまめに水分を補給する
2. 塩分・ミネラルを含む食べ物や飲料を摂取する
3. バランスのよい食事を心がける
4. 朝食をとる
5. 帽子をかぶる
6. 通気性の良い服を着る・軽装にする
7. 窓を開けて室内の風通しをよくする
8. エアコンや扇風機を利用する
9. 直射日光をできるだけ浴びないようにする
10. 日傘をさす
11. 日中の熱い時間帯の外出を避ける

12. 十分、睡眠をとる
13. 規則正しい生活をこころがける
14. 本格的に暑くなる前から暑さに慣れるための発汗運動（暑熱順化）などを行う
15. 首などを冷やす冷却グッズを利用する
16. 天気予報などで気温や湿度の情報を把握する
17. 天気予報などで熱中症の危険度を把握する
18. 自分のいる環境の熱中症の危険度を測る
19. 公共施設やクーラーの効いた屋内施設や店舗などに行く
20. その他
21. 特に何もしない

（＊）「適応」とは

地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出を抑制する取組（「緩和」）を進めたうえで、それでも現在生じている、又は将来の発生が予測される気候変動の影響に対して、その被害を回避し、又は軽減する取組のこと。例えば、自然災害への備え（浸水対策）や熱中症対策も「適応」の取組です。

（２）ヒートアイランド対策について

Ｑ９．＜ヒートアイランド現象の認知度＞

あなたは、『ヒートアイランド現象（＊）』という言葉や内容を知っていますか。もっとも近いものを１つお選びください。

- １．言葉も内容も知っていた
- ２．言葉は知っていたが、内容は知らなかった
- ３．内容は知っていたが、言葉は知らなかった
- ４．言葉も内容も知らなかった

（＊）ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外と比較して高くなる現象。

都市部でのエネルギー消費に伴う排熱の増加や緑地の減少、高層ビルなどによる通風の阻害、道路がアスファルトやコンクリートで固められていることなどから、地表面からの水分蒸発が少なくなるなどによって起きます。

Ｑ１０．＜ヒートアイランド現象のイメージ＞

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。あてはまるものを３つまでお選びください。

- １．街なかが暑く、日中に出歩きにくい
- ２．夜が暑く、夜中に寝苦しい
- ３．体調管理しにくく、また熱中症などが心配である
- ４．暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる
- ５．局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である

6. その他（具体的に： _____）
7. あてはまるものはない（複数選択不可）

Q11. <ヒートアイランド対策の取組>

ヒートアイランド対策の取組として、次にあげるものがあります。

あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

1. 緑のカーテン（＊１）、よしずによる日差しの遮断
2. 打ち水（＊２）、ドライミストなど水を活用
3. 公共交通機関の積極的な利用
4. エコカー（＊３）の使用
5. エコドライブ（＊４）の実施
6. 省エネ家電（テレビ、冷蔵庫、エアコン等）の使用
7. ＬＥＤ電球などの高効率照明の使用
8. 見える化機器・ＨＥＭＳ（＊５）の使用
9. 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）（＊６）の設置
10. 家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）（＊７）の設置
11. 太陽光発電設備（＊８）の設置
12. 太陽熱温水器（＊９）の設置
13. 緑化、高反射率塗装などによる建物表面の高温化の防止
14. 建物の断熱化（複層ガラス、内窓、断熱壁など）
15. その他（具体的に： ）
16. 取り組んでいない（複数選択不可）

(* 1) 緑のカーテン

緑のカーテンは、建物の窓際や壁、屋上をゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しを遮るものです。

(* 2) 打ち水

草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為をいいます。

(* 3) エコカー

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車、低燃費かつ低排出ガス認定車のことをいいます。

(* 4) エコドライブ

無用なアイドリングをしない、無用な空ぶかしをしない、急発進及び急加速をしない等、環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用のことをいいます。

(* 5) 見える化機器・H E M S

リアルタイムで家庭内の電気使用量や個別の家電製品等の使用状況がわかる機器です。家庭での適切なエネルギーの需給状況を生活にあわせて調節・制御してくれるシステムを併せ持つものを、特にHEMSといいます。

(＊６) 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）

従来の機器に比べて少ないエネルギーでお湯を沸かすことのできる給湯器です。空気の熱を利用

してお湯を沸かすヒートポンプ給湯器（エコキュート）や、従来は大気中に捨てていた熱エネルギーを利用する潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）などがあります。

（＊７）家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）

エンジンや燃料電池で発電し、そのとき出る熱でお湯を沸かしたり暖房に利用できるコージェネレーション（熱電併給）システムです。ご家庭の電気、給湯、暖房をまかなうことができます。

（＊８）太陽光発電設備

太陽電池により太陽の光エネルギーを電気にかえます。比較的設置しやすいため、再生可能エネルギーの中で現在最も普及しているといわれています。

（＊９）太陽熱温水器

太陽の熱をソーラーパネルで集め、そこに水を通して温水にします。昔から使われている太陽熱利用機器です。

Q12. ＜打ち水の実施状況＞

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、あなたは、夏場に『打ち水』（草花や木への水やり等も含めて、夏場に水をまく行為）を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

1. 毎年行っている
2. 毎年ではないが行っている
3. 以前は行っていたが、いまは行っていない
4. 行いたい、実施できる環境がない
5. 意識がなく、全く行っていない

Q13. ＜緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況＞

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット（＊）』づくりがありますが、あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる
2. 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない
3. 取り組んでみたいが、取り組める環境がない
4. 取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない

（＊）緑のカーテン・カーペット

緑のカーテンは、建物の窓際や壁、屋上をゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しを遮るものです。また、緑のカーペットは、サツマイモなどの葉で屋上をカーペットのように覆い、日差しを遮るものです。

Q14. ＜緑のカーテン・カーペットに関する情報＞

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）

1. チラシ・リーフレット
2. 区の広報紙

Q17. <生物多様性に関する情報>

Q16で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。

あなたは「生物多様性」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）

1. 大阪市の開催する環境学習講座
2. 大阪市関連施設でのイベント、展示等
3. リーフレット、冊子
4. 大阪市ホームページ
5. なにわエコスタイル（大阪市の運営する環境学習情報発信サイト）
6. SNS（X・Facebook・Instagramなど）
7. テレビ、新聞、雑誌
8. 家族、友人、知人
9. その他（具体的に： ）

Q18. <生物多様性の恵み>

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物（＊）を身近に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 感じる
2. 感じない (⇒Q20へ)
3. わからない (⇒Q20へ)

(*) 生き物

動物や植物等の命があるものすべてをいいます。

Q19. <自然や生き物を身近に感じるとき>

Q18で「1」を回答された方にお聞きします。

あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）

1. 公園
2. 道路
3. 寺・神社
4. 川辺
5. 建物（寺、神社、学校を除く）
6. 海辺
7. 学校
8. その他（具体的に： ）

Q20. <生物多様性保全に貢献する取組>

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる

1. EVを所有している
2. EVではない乗用車を所有している
3. 乗用車を所有していない（⇒Q25へ）

Q23. ＜休日の乗用車利用状況＞

Q22で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。

休日における1か月間の走行距離としてあてはまるものを1つお選びください。お仕事されている方はお仕事がない日をお仕事をしていない方は土日祝を想定してお選びください。

1. 100km程度未満
2. 100km程度以上、200km程度未満
3. 200km程度以上、400km程度未満
4. 400km程度以上、600km程度未満
5. 600km程度以上

Q24. ＜休日でない日の乗用車利用状況＞

Q22で「1」もしくは「2」を回答された方にお聞きします。

休日でない日における1か月間の走行距離としてあてはまるものを1つお選びください。お仕事されている方はお仕事されている日をお仕事をしていない方は土日祝以外の日を想定してお選びください。

1. 100km程度未満
2. 100km程度以上、200km程度未満
3. 200km程度以上、400km程度未満
4. 400km程度以上、600km程度未満
5. 600km程度以上

Q25. ＜今後購入する乗用車について＞

あなた又は同居する方が今後自動車を買換え又は新規購入する際の検討内容として、あてはまるものを1つお選びください。

1. EVの購入を検討している（⇒終了）
2. 乗用車の購入を検討しているが、EVの購入は検討していない
3. 乗用車の購入を検討していない（⇒終了）

Q26. ＜EVを購入の検討対象にしない理由＞

Q25で「2」を回答された方にお聞きします。

「EVの購入は検討していない」理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答可）。

1. 値段が高いから
2. 車種が少ないから
3. 駐車場のない戸建て住宅に居住しており、近所の駐車場に充電器がないから
4. 集合住宅に居住しており駐車場に充電器がないから

5. 遠出する（大阪府域外）際に充電できる場所があるか不安があるから
6. 近隣（大阪府内）に出かける際に充電できる場所があるか不安があるから
7. EVに興味がないから
8. その他